



湧別町



久保牧場のD型ハウスに描かれた「ふれあい体験牧場」の看板

「わが村は美しくー北海道」運動第10回コンクール応募団体
レークランドファーム 久保牧場
【湧別町】

食と命の大切さを伝える酪農教育ファーム

はじめりは？

1995年に小学校教員をしていた娘から牧場での課外授業の依頼を受けたことがきっかけで酪農体験学習を始めました。酪農体験を通じて「食と命の大切さ」と「酪農の良さ」を知ってもらいたいと思い、酪農教育ファームの認証を受けました。また、ファームインのための宿泊施設を牧場敷地内に建てました。その外、1991年から酪農の担い手育成のために、道内の農業高校や農業大学校などから研修生を受け入れています。

おもな活動

酪農体験メニューは搾乳や給餌など牛の飼育に関わる体験、トラクター試乗や牧草ロールラッピングへの落書きなど牧草に関わる体験、バターやチーズ作りなど乳製品加工に関する体験、ミニフットパスなどの風景を楽しむ体験、その外に酪農経営の話など多岐にわたっています。学校等の団体で100～150人程度、家族などで10～20人程度が1年間に酪農体験をしています。また、酪農研修生は延べ100人以上を受け入れ、久保牧場が行っている家族で過ごす時間を大切にする経営を知ってもらい、そのうち30人以上が新規就農をしています。



ミニフットパス体験

ここが自慢

【四半世紀以上続く酪農体験学習】

地元小学校等への酪農体験学習は25年以上続き、課外学習として定着しています。さらに、異動した教員の異動先の学校からも酪農体験の依頼があるので、地元以外の小学校の体験学習も当初に比べ増えています。また、2013年から5年間、湧別町で合宿をしていた駒澤大学付属苫小牧高校野球部の酪農体験も受け入れています。湧別町らしさを部員に知って欲しいという野球部監督の思いから始まり、野球部員が地元住民と触れ合う良い機会になりました。



駒大苫小牧野球部の酪農体験の様子

連絡先

代表者名：久保 隆幸さん／設立：1995年／会員：4名

住所：湧別町芭露126

電話番号：01586 - 6 - 2214

F A X：01586 - 6 - 2214

E-mail：

U R L：